学校番号	T0106

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「国語表現」　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

短文作成からはじめ、説明文、手紙、日常を対象にして作文に取り組む。
様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりする。
文章の推敲の仕方や種種の表現実践に取り組む。

2　学習の到達目標

表現力や思考力を伸ばし、自分の意見を相手に示す能力や言語感覚を磨く

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）		行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	1調べる　2取材する　3説明する	・図書館を利用して情報を集める方法を理解する ・聞き取り取材の方法や留意点を理解する。 ・本の紹介文を書く時のポイントを理解する。	○	○			○	a:情報を集める意欲。 b:適切な言葉使い、表現を使っているか。 e: 図書館の活用方法や，集めた情報を検証することの大切さを理解しているか。	課題プリント、ノート、定期考査
	4まとめる　5古典の表現に学ぶ	・仮の主張に基づいて調査や分析を行い，集めた材料をもとに文章の構成を考えることを理解する。 ・構成メモをもとに，実際に論文を書く時の注意点について理解する。 ・現代にも生きる古典の言葉があることを理解する。	○	○	○		○	a:書く意欲、古典を理解しようとする意欲があるか。 b: 論文の書き方、古典常識に留意しているか。 c: 適切な言葉使い、語句を使っているか。 e: 論文を書く時の留意点を理解しているか。	課題プリント、ノート、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※ 原則として一つの単元ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。